

第43期 中間期株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日



DTS

Delivering
Tomorrow's
Solutions



証券コード：9682



代表取締役社長
西田 公一

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しております。情報サービス産業においても、企業収益の改善に伴い、金融機関を中心に情報化投資が回復傾向にあります。

このような状況下において当社グループは、平成25年4月に策定した中期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）の2年目として、中期経営計画ビジョンである「お客様に最高の価値を提供する ベスト・バリュー・パートナー」の具現化に向けて、売上高の拡大に向けた提案力の強化や、新規ソリューションの創出、グローバル展開におけるビジネス基盤の確立などに注力しております。さらには、それを支える高付加価値人材の育成や、経営基盤の強化、グループシナジーの最大化にも継続的に取り組んでおります。

当期は、金融、通信に続く第三の柱の創出に向けた施策として、組込み関連ビジネスの拡大を目的に、アー

トシステム株式会社、横河デジタルコンピュータ株式会社の株式を取得し、新規連結をしております。

同時にグループ会社の再編も進めております。4月に当社を存続会社として、連結子会社である株式会社FAITECを吸収合併し、さらに、当社の関西支社および中京支社の情報サービス事業を分社化し、株式会社DTS WESTを設立いたしました。

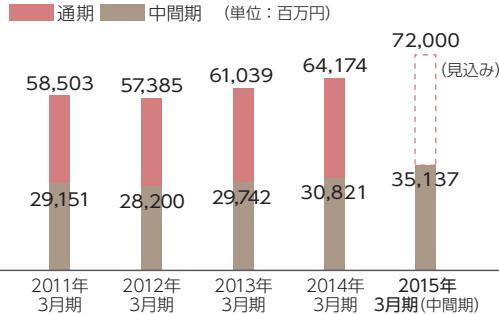
また、株式会社DTS WESTは、連結子会社である株式会社総合システムサービスと平成27年4月をもって合併することを9月に決定しております。両社はともに関西地域を拠点としており、両社が有するノウハウの融合や経営基盤の強化を図ることで、西日本地域におけるさらなる事業拡大を目指します。

新規ソリューションの創出に向けた取り組みとしては、5月に畜産業向けクラウドサービス「Dr. Cowbell」を開始しました。さらに、中小規模システムユーザー向けシステム監視製品「ReSM（リズム）システム監視スタートセット」や、複数端末間で情報を共有・閲覧できるオンラインストレージ「On-PreSt（オンプレスト）」を発売するなど、新たなサービスの提供を進めております。

グローバルビジネスの基盤確立に向けては、中国、アメリカ、タイに続く海外拠点として、4月にベトナムにオフショア開発やBPOなどの業務を受託する現地法人を設立いたしました。グローバル事業売上高の拡大を目指し、引き続き海外拠点の整備やグローバル人材の育成などを進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

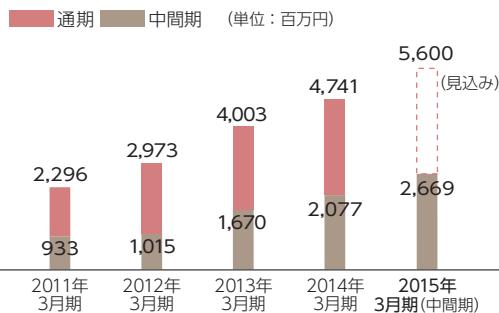
《売上高》



351億37百万円

前年同期比
14.0%増

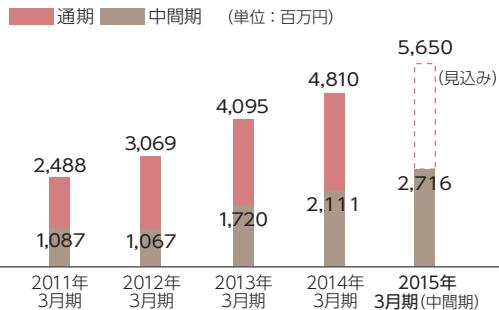
《営業利益》



26億69百万円

前年同期比
28.5%増

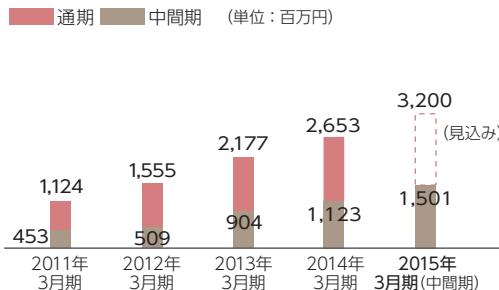
《経常利益》



27億16百万円

前年同期比
28.6%増

《四半期(当期)純利益》



15億1百万円

前年同期比
33.7%増

売上高について

売上高は351億37百万円(前年同期比14.0%増)となりました。売上高の増加は、銀行や証券などの金融業の開発案件が好調に推移し、官公庁などで新規案件を獲得したことに加え、今期からアートシステム株式会社、横河デジタルコンピュータ株式会社、DTS America Corporationの3社を新規連結したことによるものです。

利益について

売上原価は291億8百万円(前年同期比12.5%増)、売上総利益は、60億29百万円(同21.9%増)となりました。売上総利益の増加は、主に売上高の増加によるものです。

販売費及び一般管理費は、主に新規連結の影響により、33億59百万円(同17.2%増)となりました。

この結果、営業利益26億69百万円(同28.5%増)、経常利益27億16百万円(同28.6%増)、四半期純利益15億1百万円(同33.7%増)となりました。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2015年3月期 第2四半期末 (2014年9月30日現在)	2014年3月期 (2014年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	32,457	32,120
固定資産	14,620	14,195
有形固定資産	8,547	8,730
無形固定資産	2,449	2,019
投資その他の資産	3,623	3,446
資産合計	47,078	46,316
(負債の部)		
流動負債	10,265	10,183
固定負債	688	881
負債合計	10,954	11,064
(純資産の部)		
株主資本	34,355	33,591
資本金	6,113	6,113
資本剰余金	6,190	6,190
利益剰余金	23,973	22,781
自己株式	△1,922	△1,493
その他の包括利益累計額	374	334
少数株主持分	1,394	1,324
純資産合計	36,123	35,251
負債純資産合計	47,078	46,316

① 資産について

総資産は470億78百万円となりました。商品及び製品が2億79百万円減少いたしました。仕掛品が6億29百万円、のれんが4億98百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ総資産が7億62百万円増加いたしました。

② 負債について

負債は109億54百万円となりました。買掛金が3億69百万円、未払法人税等が3億30百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ負債が1億10百万円減少いたしました。

③ 純資産について

純資産は361億23百万円となりました。剰余金の配当により4億75百万円、自己株式の取得により4億28百万円それぞれ減少いたしました。四半期純利益により15億1百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ純資産が8億72百万円増加いたしました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2015年3月期 第2四半期(累計) (2014年4月1日~2014年9月30日)	2014年3月期 第2四半期(累計) (2013年4月1日~2013年9月30日)
売上高	35,137	30,821
売上原価	29,108	25,877
売上総利益	6,029	4,944
販売費及び一般管理費	3,359	2,866
営業利益	2,669	2,077
営業外収益	57	49
営業外費用	10	15
経常利益	2,716	2,111
特別利益	-	0
特別損失	129	4
税金等調整前四半期純利益	2,587	2,107
法人税等	1,047	911
少数株主損益調整前 四半期純利益	1,539	1,196
少数株主利益	38	73
四半期純利益	1,501	1,123

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2015年3月期 第2四半期(累計) (2014年4月1日~2014年9月30日)	2014年3月期 第2四半期(累計) (2013年4月1日~2013年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,404	1,265
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,514	△61
財務活動による キャッシュ・フロー	△968	△579
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△6	10
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△85	635
現金及び現金同等物の 期首残高	18,055	15,320
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	36	150
現金及び現金同等物の 四半期末残高	18,006	16,106

業績予想および配当予想

Earnings Forecasts and Dividends

業績予想と配当予想を修正

11月5日に、平成27年3月期通期の業績予想および配当予想を修正いたしました。業績予想については、金融機関等の開発需要の増加等により、売上高が当初の予想を上回るペースで進捗しており、売上高720億円、営業利益56億円に上方修正。これは中期経営計画の最終年度である来期に目標としていた数値であり、一年前倒しでの達成を目指します。

また、配当予想についても、期末配当予想を直近の配当予想から5円増配し、1株当たり25円に修正し、中間配当15円と合わせて、年間の配当予想を35円から40円に修正します。

2015年3月期 連結業績予想

売上高	72,000百万円(前期比12.2%増)
営業利益	5,600百万円(前期比18.1%増)
経常利益	5,650百万円(前期比17.5%増)
当期純利益	3,200百万円(前期比20.6%増)

2015年3月期 配当予想

中間期末(実績)	期末	年間
15円	25円	40円

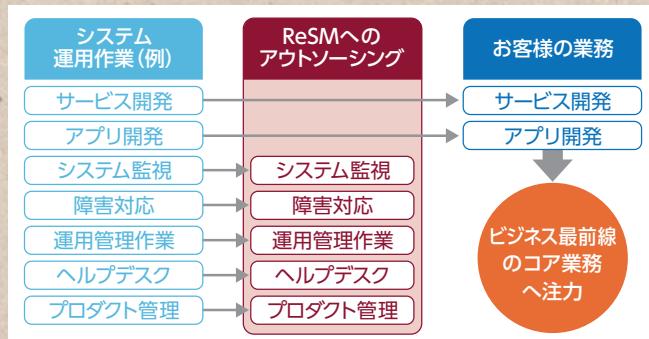
ITのマネジメントを最適化する、DTS独自のサービス 統合運用管理サービス「ReSM(リズム)」

■「ReSM(リズム)」サービスとは？

ITマネジメントのトータルサポートで
お客さま本来の業務に集中できる環境を

システムの維持保守に追われて社内の要求に答えられない、コスト削減で体制の強化・改善が進まない……
ReSMは、そんな企業の情報システム部門が抱える課題を解決するサービスです。統合運用センターによるシステム監視や運用代行のほか、運用管理の設計やコンサルティングなどITインフラのマネジメントをトータルでサポート。官民100以上ものお客さまに、サービスを提供しています。

【製品特長・導入効果イメージ】



サービスの「共創」でさらなる進化へ

高性能なシステム監視ツールの登場や、システムを自社保有せずクラウドサービスを利用する企業の増加などを背景に、すでに成熟したシステム運用監視という領域はいま大きな転換期を迎えようとしています。そこでReSMでは、システムの運用監視にとどまらず、そのサービスをさらに高付加価値化する取り組みを展開中です。

その第一歩が、お客さまとビジネスの目標を共有し、

お客さまの価値に貢献できるサービスをお客さまと共に創りあげていく「共創」というアプローチ。サービス担当部門では、すでに多くのお客さま企業や社内部門と連携しながら、新たなサービスと価値を共創しています。こうした取り組みを通じて、当社では今後、ReSMをDTSの基盤サービスブランドとして確立・進化させていく考えです。

「ReSM」の事業範囲



「ReSM(リズム)
サービス担当
スタッフの声」



カスタマシステム
サービス事業部
プロジェクトリーダー
高橋 悟史



ITサービス営業部
ITコンサルタント
足立 綱貴

40年以上にわたるシステム運用管理のノウハウを投入。
コストと時間を低減し、お客さまのビジネスを変革します。

ITが企業経営に不可欠な存在となり、システム運用管理がその重要性を増す一方、業務を担う情報システム部門は、コストや時間、業務負担などに関する多くの課題に直面しています。当社は40年以上にわたってシステム運用管理のアウトソーサーとしてビジネスを展開してきましたが、この経験を通じて蓄積された豊富なノウハウを集約している点にReSMの強みがあるのです。

運用管理にかかる人員や時間を適正配分し、コストや時間のムダを大幅に低減するReSMは、「運用監視」「設計構築」「ITヘルプデスク」など、ITの全ライフサイクルを網羅する豊富なサービスを用意しています。お客さまをシステム運用管理の悩みから解放し、本来の業務に専念していただくことで、お客さまのビジネスに“Re”volution(変革)をもたらしたいと考えています。

導入事例

ビジネススクール
運営会社様

システム運用の再構築で対応業務を大幅に省力化。
運用プロセスの改善でコストも50%削減しました。

社外のデータセンターにスクール運営管理システムを構築したものの、運用設計が未整備のままサービス開始が目前に迫っていたお客さま。ご相談を受けたReSM担当部門では専門スタッフを派遣して運用の設計・整備を実施しました。さらに専門スタッフがお客さま先に常駐し、ご要望を運用体制に反映しながらシステム設計にビジネス視点を加え、ITシステムの最適化も実施。予想されるトラブルを洗い出して運用プロセスの不具合も改善し、運用コストを約50%削減しました。

お客さまは、「大変苦しい状況でしたが、専門的な知識と技術を駆使して強力にサポートしていただいた

おかげで安心してサービスを開始できました。サービス開始後もスタッフの方が常駐し、こちらの細かな要望もビジネス視点で精査して運用管理に盛り込んでくれるため、とても心強いですね」とその効果を高く評価。夜間や休日を問わずデータセンターとの対応に追われていたご担当者の業務をReSMが肩代わりするとともに、問い合わせ対応の数も低減しています。



Topics.1

ベトナムに現地法人を設立

現在、DTSでは中期経営計画に掲げた「グローバルビジネス基盤の構築」という目標に向け、東南アジア全域でのビジネス展開を進めています。こうした方針のもと、当社は今年4月、低価格で良質なエンジニアリングリソースを確保できるベトナム・ハノイに、オフショア開発とオフショアBPO業務を受託する現地法人「DTS SOFTWARE VIETNAM CO.,LTD. (以下、DTSベトナム)」を設立しました。

DTSベトナムは、海外拠点としては4番目、東南アジアではタイに続き2番目となる拠点です。早々に体制を整え、グローバル競争力の強化や、より付加価値の高いトータルITソリューションの提供を目指してまいります。

BPO : Business Process Outsourcing



DTSベトナムの受付



DTSベトナムのオフィス内

DTS SOFTWARE VIETNAM CO.,LTD.の概要	
所在地	ベトナム・ハノイ市内
設立	2014年4月23日
資本金	120万USドル
事業内容	オフショア開発受託、住宅CAD入力、BPOセンター

Topics.2

DTS WESTと総合システムサービスを合併

中期経営計画の重点施策に上げられる「グループ総合力の結集」の実現に向け、現在DTSではグループ体制の最適化を進めています。その取り組みの一環として、今年9月、ともに当社の完全子会社である大阪を拠点とする「株式会社DTS WEST」と京都を拠点とする「株式会社総合システムサービス」の合併を決定しました。

2015年4月1日に予定される両社の合併は、それぞれの持つノウハウの融合と経営基盤の強化によって西日本地域におけるさらなる事業拡大を目指すものです。今後も当社では最適なグループ体制構築へ向けた取り組みを通じて、持続的な成長を追求してまいります。

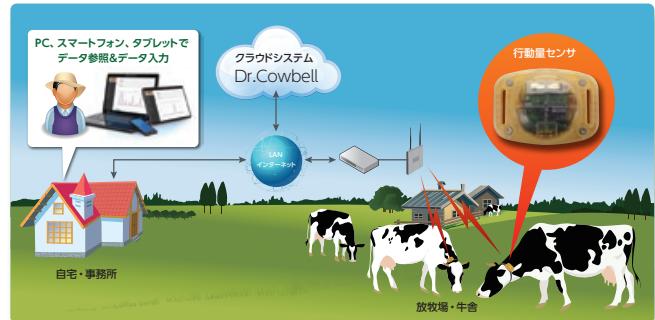
Topics.3

畜産業向けクラウドサービス「Dr.Cowbell®」を開発

近年、畜産農家の経営効率化が課題となる中、DTSでは雌牛の発情や疾病の兆候を早期に知らせる畜産業向けクラウドサービス「Dr.Cowbell®」を開発しました。このサービスは、雌牛の首に装着した行動量センサー（ヘルスチェッカー）で行動データを取得し、各種の兆候を検知してパソコンやスマートフォンなどに知らせるもの。畜産農家にとって理想とされる雌牛の「1年1産」にも寄与することが期待されています。

なお、このサービスは今年10月に千葉市の幕張メッセで開催された「第1回国際次世代農業EXPO」に出展され、来場者から注目を集めました。

Dr.Cowbell



※Dr.Cowbell®の行動量センサーは牛の首に取り付けます。取り付け時の怪我等の危険性も低く、付け替えや電池の交換も簡単です。

Topics.4

オンラインストレージ「On-PreSt(オンプレスト)」を開発

タブレットやスマートフォンが普及する一方、これらを、業務情報を共有・閲覧するための端末として利用する例はまだ少ないのが現状です。この状況は、企業向けファイル共有サービスの多くが、それを利用したい企業のセキュリティ要件を満たしていないことに起因するものと考えられています。

今年7月、DTSではこうしたファイル共有の課題を解決すべく、顧客企業専用の環境で高度なセキュリティを確保したファイル供給サービスを実現できるオンラインストレージ「On-PreSt」の販売を開始。スマートデバイスを含む複数の端末間でセキュアに業務情報を共有・閲覧できる製品として市場の期待を集めています。



株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,222,266株
株主数	7,117名

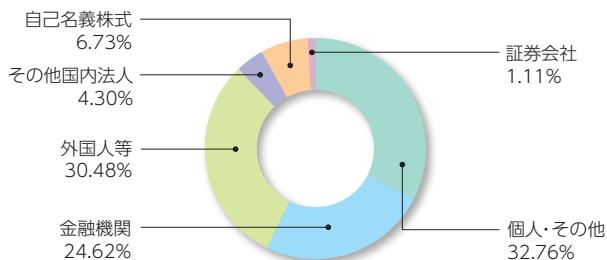
大株主の状況

氏名または名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,983	8.43
DTSグループ社員持株会	1,690	7.19
笹貴 敏男	1,303	5.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,170	4.98
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	661	2.81
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント イービーディー	580	2.47
株式会社NTC	482	2.05
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	438	1.86
株式会社みずほ銀行	410	1.75
小崎 智富	401	1.71

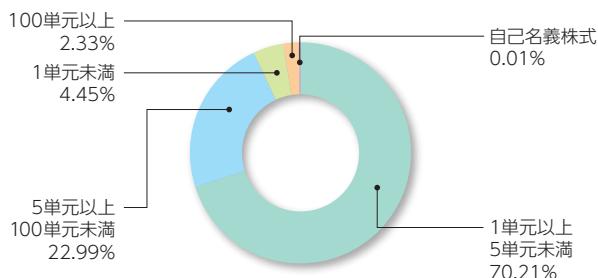
(注)当社は、自己株式1,697千株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (2014年9月30日現在)

● 所有者別株式数



● 所有数別株主数



■ ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報を開示しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

また、当社の情報を迅速にお届けするため、IRニュースメールを配信し、ご好評をいただいております。登録は、当社ホームページからお願いいたします。ぜひご利用ください。

ホームページアドレス▶ <http://www.dts.co.jp/>

商 号 株式会社DTS
DTS CORPORATION
設立年月日 1972年8月25日
資 本 金 6,113百万円 (2014年9月30日現在)
従 業 員 数 連結：4,451名 単独：2,823名 (2014年9月30日現在)
本 社 〒105-0004 東京都港区新橋6-19-13
(本社本館) TEL：03-3437-5488 (代表)

関係会社

株式会社九州DTS
データリンクス株式会社
日本SE株式会社
株式会社総合システムサービス
株式会社MIRUCA
通天斯(上海)軟件技術有限公司
デジタルテクノロジー株式会社
株式会社DTSパレット
DTS America Corporation
DTS IT Solutions(Thailand)Co.,Ltd.
株式会社DTS WEST
アートシステム株式会社
横河デジタルコンピュータ株式会社
DTS SOFTWARE VIETNAM CO.,LTD.

事業所

本 社 新 館 東京都港区新橋6-12-4
本 社 別 館 東京都港区新橋5-23-4
新 橋 セ ン タ 東京都港区新橋5-32-8
芝 開 発 セ ン タ 東京都港区芝大門1-10-11
白 金 開 発 セ ン タ 東京都港区白金1-27-6
中 京 支 社 名古屋市中区栄2-9-26
関 西 支 社 大阪市中央区安土町2-3-13
九 州 支 社 福岡市博多区博多駅前2-19-24

役 員 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長	西 田 公 一		
専務取締役	熊 坂 勝 美		
常務取締役	伊 東 辰 巳		
取 締 役	坂 本 孝 雄		
	竹 内 実 夫		
	横 尾 勇 夫		
社 外 取 締 役	萩 原 忠 幸		
	鈴 木 滋 彦		
	坂 田 俊 一		
常 勤 監 査 役	村 井 一 之 史		
	栗 原 広 史		
社 外 監 査 役	田 中 襄 清		
	嵯 峨 清 喜		
	服 部 彰 彰		
執 行 役 員	上 野 大 輔	岩 田 果	
	綱 島 恵 二	浅 見 伊 佐 夫	
	安 達 継 巳	赤 松 謙 一 郎	
	小 林 浩 利	齋 藤 健	
	廣 川 讓 一	込 山 慎 一 雄	
	豊 永 智 規	大 久 保 茂 雄	

1.



【トップ】
「株主・投資家向け情報」をクリック

2.



【株主・投資家向け情報】
「IRメール配信サービス」をクリック

3.



【IRニュースメール】
「新規登録」をクリック



株式会社 **DTS**
<http://www.dts.co.jp/>

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
定時株主総会の基準日 3月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなさる株主様は、大切に保管ください。

